

「水の路づくり」計画について

01 提案の背景

大阪の市街地は長年の都市活動により、自然が破壊され砂漠同然の状況になりつつある。また、それと共に大阪全体に経済的地盤沈下やモラルの低下が進行している。今や、大阪に活力と美しい街を復活させることが急務と考えられる。古くより大阪は水都と呼ばれ、水の活用を通じて街の発展を進めてきた。しかしながら、現在は多くの川が埋め立てられ、昔の面影はなくなっている。今回、大阪に“元気”と“人にやさしい環境”を取り戻してくれる「水の路づくり」計画を提案し、水都・大阪の復活を推進していきたい。

02 提案の概要

1. 市域に「水の路」を縦横にめぐらすことにより、市民や観光客が身近に水と親しめる環境を創り出し、世界に誇れる「水都大阪」を復活させる

- ・ 先導シンボルプロジェクトとして、まずは御堂筋に導入していく。その後、順次市域全体に展開していき、50年後位には、市域全体が豊かなせせらぎでおおわれる水都大阪を完成させる。

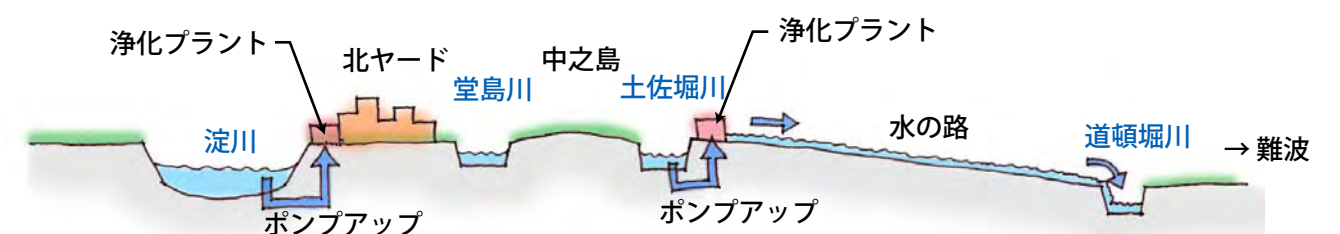
<プロジェクトの効果として>

- ① 世界に誇れる、都市景観を創出し、国際観光都市として世界にアピールできる。
- ② 市民・企業・行政が一体となった大阪再生のシンボルプロジェクトとし、市民意識（環境・コミュニティ・モラル）の改革に寄与する。
- ③ 水の路の市全域への展開によりヒートアイランド現象の緩和が図れる。
- ④ 水の路を地域の住民や企業が共同管理することにより良質な地域コミュニティが育成される。

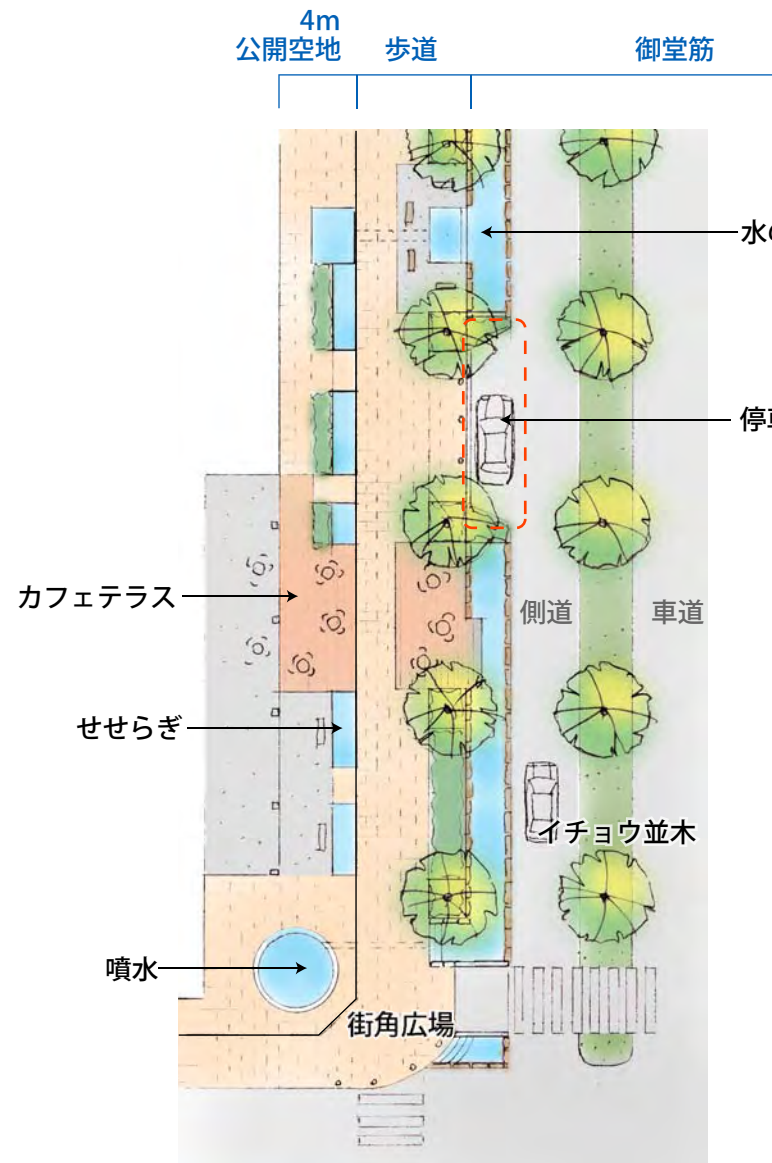
03 計画のイメージ



■ 水の路 断面イメージ



04 水の路 計画イメージ



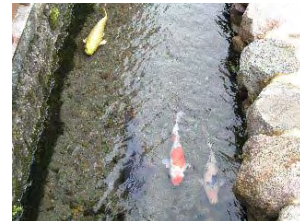
既存側道の駐車帯を水の路とする。
各施設に水を引きこみ、公開空地に水のオブジェを設けたり、カフェテラスなどの寛ぎの場を提供し、より水に近い親水の大阪をつくる。



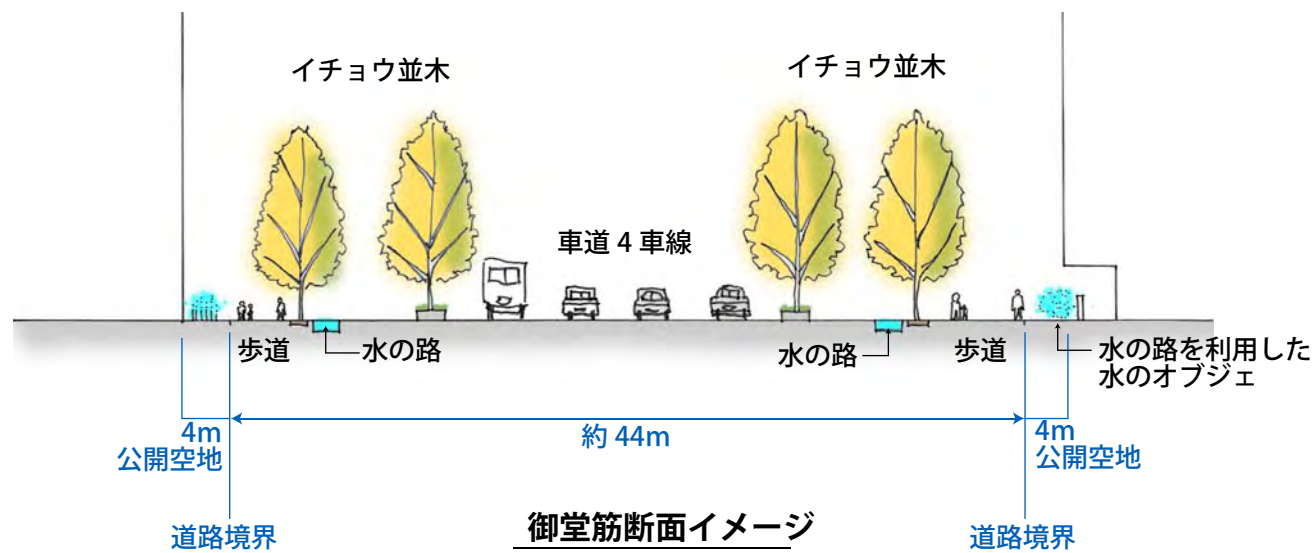
水の路イメージ



噴水イメージ



御堂筋平面イメージ



御堂筋断面イメージ

05 水辺のにぎわい創出

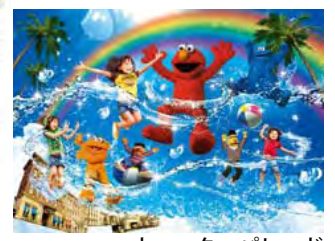
「国際水のサミット」や「世界水フォーラム」等も誘致していく。
その後も国際レベルのウォーターイベントを毎年開催していき、継続的な情報発信を世界に行い、国際観光都市大阪の目玉イベントとする。



水のサミット

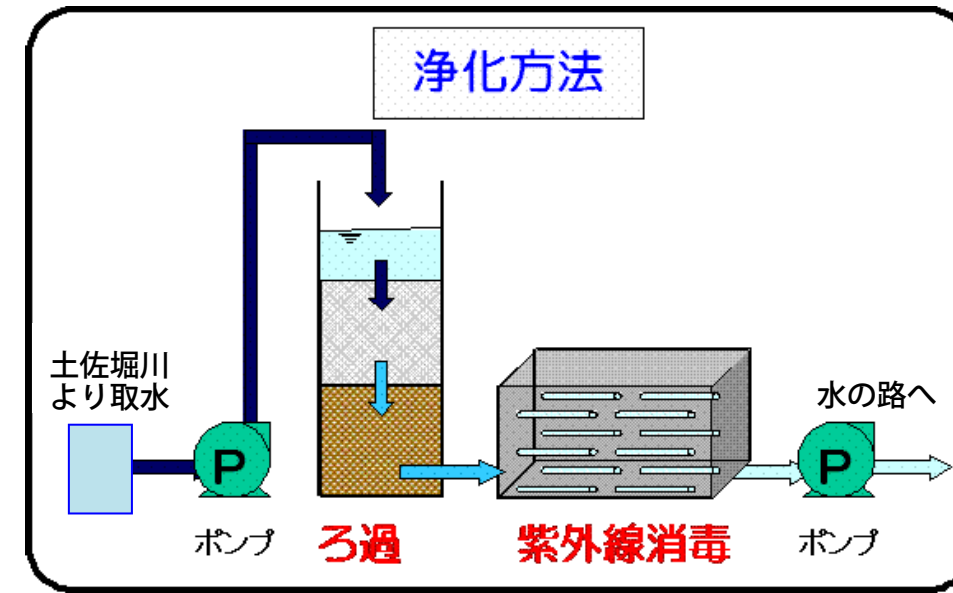


ウォータースクリーン



ウォーターパレード

06 水質浄化施設イメージ



取水部分



浄化プラント